

9月の農作物病害虫発生現況

(令和6年9月17日現在) 山口県病害虫防除所

1 巡回調査期間:9月10日～12日

2 1か月気象予報(9月12日福岡管区気象台発表)

気温:低い 10%、平年並 10%、高い 80%

降水量:少ない 20%、平年並 30%、多い 50%

日照時間:少ない 40%、平年並 30%、多い 30%

3 発生現況

【イネ】

○いもち病(穂いもち)

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 24.5%(平年 25.2%)、発病株率 7.4%(平年 7.0%)、発病穂率 0.8%(平年 1.3%)、被害度 0.5(平年 0.9)

今後の予想:平年並

予想の根拠:現況発生量(±)、気温は高い、降水量は多い(+)

○紋枯病

発生現況:やや多

ほ場調査:やや多 発生ほ場率 43.4%(平年 26.4%)、発病株率 9.1%(平年 6.1%)、発病度 4.4(平年 2.4)

今後の予想:やや多

予想の根拠:現況発生量(+)、気温は高い、降水量は多い(+)

○ごま葉枯病

発生現況:多

ほ場調査:多 発生ほ場率 57.7%(平年 32.1%)、発病株率 33.2%(平年 17.1%)、発病度 8.3(平年 4.6)

○白葉枯病

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 0%(平年 0.1%)、発病株率 0%(平年 0.0%)、発病度 0(平年 0.0)

○縞葉枯病

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 0%(平年 0.4%)、発病株率 0%(平年 0.0%)

○もみ枯細菌病

発生現況:多

ほ場調査:多 発生ほ場率 14.9%(平年 3.2%)、発病株率 3.9%(平年 0.5%)、発病穂率 0.3%(平年 0.0%)

○稲こうじ病

発生現況:やや少

ほ場調査:やや少 発生ほ場率 2.5%(平年 7.7%)、発病株率 0.2%(平年 1.1%)

○トビイロウンカ

発生現況: 平年並

ほ場調査: 平年並 発生ほ場率 3.8% (平年 29.3%)、10 株当たり虫数 0.0 頭 (平年 17.5 頭)、10 株当たり短翅型成虫数 0.0 頭 (平年 1.0 頭)

今後の予想: 平年並

予想の根拠: 現況発生量(±)、気温は高い(+)

備考: 10 月以降に収穫するほ場でトビイロウンカの発生が多い場合は、追加防除を実施する。防除ができない場合は、早めに収穫する。

○コブノメイガ

発生現況: やや多

ほ場調査: やや多 発生ほ場率 64.2% (平年 35.4%)、被害葉率 3.0% (平年 1.2%)

○斑点米カメムシ類

発生現況: やや多

ほ場調査: やや多 発生ほ場率 60.0% (平年 48.5%)、20 回すくい取り虫数 2.1 頭 (平年 1.6 頭)、主要種はイネカメムシ、ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ

8 月 11 日～9 月 10 日の予察灯 (県内3か所) の誘殺数: 平年並 1,119 頭 (平年 1,698 頭)

今後の予想: やや多

予想の根拠: 現況発生量(+)、予察灯誘殺数(±)、気温は高い(+)

備考: カメムシ類の発生が多い場合は、追加防除を実施する。なお、防除に当たっては使用時期等(農薬使用基準)を遵守する。

令和6年8月 16 日付け令和6年度農作物病虫害発生予察技術資料第7号参照

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22318.html>

【ダイズ】

○ハスモンヨトウ

発生現況: 平年並

ほ場調査: 平年並 白変葉発生ほ場率 55.0% (平年 45.7%)、1a 当たり白変か所数 1.1 か所 (平年 1.0 か所)、㎡当たり虫数 1.1 頭 (平年 1.6 頭)

8 月 11 日～9 月 10 日のフェロモントラップ (県内5か所) の誘殺数: 平年並 9,842 頭 (平年 8,087 頭)

今後の予想: 平年並

予想の根拠: 現況発生量(±)、フェロモントラップ誘殺数(±)、気温は高い(+)

備考: 防除の目安は、白変葉の発生が 1a 当たり5か所以上。

ほ場をよく観察し、防除適期(若齢幼虫最盛期)に薬剤防除を実施する。

○吸実性カメムシ類

発生現況: 平年並

ほ場調査: 平年並 発生ほ場率 76.2% (平年 59.5%)、㎡当たり虫数 0.6 頭 (平年 0.6 頭)

8 月 11 日～9 月 10 日の予察灯 (県内3か所) の誘殺数: やや多 80 頭 (平年 52 頭) 吸実性カメムシ類3種(アオクサカメムシ、ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ)合計

今後の予想: やや多

予想の根拠:現況発生量(±)、予察灯誘殺数(+)、気温は高い(+)

備考:子実肥大期(開花期後 45~50 日)の防除を実施する。

防除の際はダイズの莢に薬剤が十分かかるよう散布する。

8月まで低密度でも、9月以降密度が急増することが多いため、ほ場での発生状況を確認する。

令和6年8月 16 日付け令和6年度農作物病虫害発生予察技術資料第6号参照

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22318.html>

○ウワバ類等のチョウ目

発生現況:平年並

ほ場調査:平年並 発生ほ場率 71.4%(平年 79.1%)、m²当たり虫数 0.9 頭(平年 1.5 頭)

今後の予想:平年並

予想の根拠:現況発生量(±)、気温は高い(+)

備考:発生が多い場合は防除を実施する。

○フタスジヒメハムシ

発生現況:やや少

ほ場調査:やや少 発生ほ場率 85.0%(平年 78.1%)、m²当たり虫数 8.1 頭(平年 11.2 頭)

【ナシ】

○ナシヒメシンクイ

発生現況:平年並

8月 11 日~9月 10 日のフェロモントラップ(萩市、下関市)の誘殺数:平年並 63 頭(平年 82 頭)

誘殺グラフ:ナシヒメシンクイ(フェロモントラップ:萩市)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/189619.jpg>

誘殺グラフ:ナシヒメシンクイ(フェロモントラップ:下関市)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/189618.jpg>

今後の予想:平年並

予想の根拠:フェロモントラップ誘殺数(±)、気温は高い(+)

備考:発生が多い園地では、収穫期であっても収穫前日数に留意して防除を行う。

【果樹全般】

○カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)

発生現況:平年並

8月 11 日~9月 10 日の予察灯(県内4か所)の誘殺数:平年並 510 頭(平年 532 頭)

今後の予想:平年並

誘殺グラフ:果樹カメムシ類(予察灯:県内4か所合計)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/188941.jpg>

予想の根拠:予察灯誘殺数(±)、気温は高い(+)

備考:カンキツ類、カキ、リンゴ、晩生ナシ等で飛来を確認したら防除を徹底する。

令和6年8月 16 日付け令和6年度病虫害発生予察技術資料第5号参照

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22318.html>

【野菜全般】

○ハスモンヨトウ

発生現況: 平年並

8月11日～9月10日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数: 平年並 9,842頭(平年8,087頭)

誘殺グラフ: ハスモンヨトウ(フェロモントラップ: 県内5か所)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22319.html>

今後の予想: 平年並

予想の根拠: フェロモントラップ誘殺数(±)、気温は高い、降水量は多い(±)

○コガネムシ類

発生現況: 少

8月11日～9月10日の予察灯(県内3か所)の誘殺数: 少 67頭(平年126頭) コガネムシ類4種(ドウガネブイブイ、アオドウガネ、コガネムシ、ヒメコガネ)合計

誘殺グラフ: コガネムシ類(予察灯: 県内3か所)

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22319.html>